

受診率の向上について伺う。
 答無料クーポン券の送付により、受診者数、受診率とも向上している。
 ※他の質問項目 受診率向上のためのピンフリー運動の展開 など

新たな住宅セーフティネット制度

問本制度が確立された際には、本区でも活用する必要があると思うが、どのように準備し、取り組むのか伺う。
 答制度内容が確定した際には、関連団体との連携を強化し、住宅確保要配慮者の円滑な入居の推進に努める。
 ※他の質問項目 住宅確保要配慮者への本区の考え方 など

本区の不登校対策

問本区の取り組みを伺う。
 答今年度から中期実施計画事業の不登校対策プロジェクトに取り組む。支援体制の強化のため、(仮称)教育支援センター整備の検討を進める。
 ※他の質問項目 校務システムの導入前と導入後の状況 など

バス路線の充実

問今後のバス社会実験の考え方を伺う。
 答バスの需要がある地域にバス社会実験の形で検証を行ってきた。今後もバス社会実験を引き続き行い、公共交通網の構築に向けた検討を行う。
 ※他の質問項目 小菅地域の社会実験バスの運行 など

日本共産党葛飾区議会議員団

必要な時期に就学援助の支給をがん検診、無料化など充実を

(仮称) 公共施設等経営基本方針案

問葛飾区版ネオボラ事業を展開するためにも、廃止した2カ所の保健センターを復活すべきと思うがどうか。
 答積極的に地域に向くことを基本姿勢として保健センターの再編を行った。集約した機能を最大限に活用し、

葛飾区版ネオボラを展開する。
 ※他の質問項目 区民参加のルールの明記 など

子育て支援

問就学援助の中学校入学準備金の支給時期見直しは今年度から実施し、小学校も同様とすべきと思うがどうか。
 答周知期間の不足などから今年度実施する考えはない。小学校も直近の認定が望ましく現時点で実施はしない。
 問返済不要の給付型奨学金制度を区も実施すべきと思うがどうか。
 答現在、奨学金の貸付制度を実施しており、給付型奨学金制度を同時実施することは、財政的な負担が大きい。
 ※他の質問項目 学校給食費の無償化 など

がん診療体制

問各種がん検診費用の自己負担をゼロにし、地区センターなどでの、胃がん検診の回数拡大をしてはどうか。



がん検診車

答自分の体は自分で守るという考えの下、今後も一部自己負担をお願いしていく。胃がん検診については、過去の申込状況や受診実績などを勘案し、実施回数を定めており、来年度は新小岩北地区センターでの回数を拡大する予定である。

※他の質問項目 がん拠点病院の誘致 など

金町駅周辺のまちづくり等

問JR金町駅西口改札の設置について、区が積極的に働きかけ実現していく

べきと考える。区長の決意を伺う。

答JR東日本と意見交換を行いながら地域のまちづくりと併せて検討を進めている。引き続き意見交換を行い、JR金町駅の安全性や利便性向上に向けて積極的に取り組んでいく。
 ※他の質問項目 新金貨物線の旅客化検討の経緯

政策 葛飾

夢と誇りあるふるさと葛飾の実現に向けた施策の充実を

区政の重要プロジェクト

問区内医療環境の充実に向け今後の課題と解決に向けた取り組みを伺う。



イムス東京葛飾総合病院

答今後の高齢社会の進展を踏まえた医療体制の構築、地域的偏在の解消などの課題がある。旧小岩小跡地に病院を誘致したが、さらなる課題解決のため区内の病院・診療所の連携強化、医療と介護の連携などさまざまな形で関係機関と連携を図っていく。
 ※他の質問項目 東京理科大学誘致に伴う経済効果の実態調査 など

少子高齢社会における施策

問待機児童ゼロに向けた今後の見通しと課題について、区の見解を伺う。
 答保育需要の拡大傾向は続くと考えている。子育て支援の一層の充実を図るため、きめ細かく保育需要を見極め、待機児童ゼロにとどまらず、年間を通して利用しやすい保育サービスの提供体制を早急に構築していく。

※他の質問項目 超高齢社会を見据えた高齢者対策 など

た高齢者対策 など

街づくりの進捗と課題

問立石駅北口の再開発事業について、地権者には丁寧な説明が必要と考えるが、区の見解を伺う。
 答準備組合に対し、権利者に丁寧な説明しながら進めるよう改めて指導する。区も準備組合と連携しながら、権利者の不安解消に努め、立石駅周辺地区の街づくりを着実に推進する。
 ※他の質問項目 木造密集地域の早急な整備促進 など

教育及び東京2020オリンピック・パラリンピック

問どのような視点を重視して総合教育会議を運営しているのか伺う。
 答区長と教育委員会が目指す教育の目標や理念、指針を共有し、一層の民意を反映した施策の総合的な推進を重視している。今後も総合教育会議を活用し、これまでの取り組みをさらに進めていく。
 ※他の質問項目 オリンピックに向けた本区の取り組み など

葛飾区議会議員団

区の施設を誰もが使いやすい愛着の持てる工夫を

葛飾区道路通称名・愛称名の設定
 問道路の通称名・愛称名を地域からも提案できるような仕組みを事業化するべきと考えるがどうか。



葛飾通り(友好都市フロリズドルフ区内)

答主要な道路や公園の新設に当たっては、地域の意見を聞きながら、日常生活において分かりやすく愛着が持てるように名称を設定している。今後は、既存の道路の名称設定についても、地域を代表する道路など、特に命名の必要な道路については、公募を含め広く地域の方々の声が反映できる仕組みづくりを検討する。

※他の質問項目 道路に通称名・愛称名を設定することへの区の見解
 図書館利用時の託児サービス
 問育児世帯の図書館の利用促進策はどのようべきと考えるか伺う。
 答育児世帯の家庭に対しては、ゼロ歳児からの「おひざ」にだっこのお話し会」など育児中の方が子供と一緒に参加できる事業を展開してきた。今後も、子育て中の方が図書館に足を運びたくなる事業を検討し実施していくことで、育児世帯の図書館の利用促進を図っていく。
 問実施可能な地域から図書館利用時の託児サービスを進めていくべきと考えるがどうか。
 答託児サービスは、育児中の方の図書館利用への誘因になると考えるが、託児の場所など実施に当たって多くの課題があるため、他区の実施状況等を見ながら検討を進めていく。

外国人に対する防災対策と障害者理解を広げる取り組みを

外国人を災害弱者にしないための取り組み
 問在留外国人や外国人旅行者のための多言語による情報提供ルートの整備について、取り組み状況を伺う。
 答公共サインの言語表記を日本語・英語の併記を基本とするなどルールを定め取り組んでいる。引き続き、多言語による情報発信に努める。
 ※他の質問項目 避難所生活での配慮

本区の情報モラル教育

問スマートフォンなどの情報端末は便利だが、利用を巡るトラブルも増大している。教育委員会や学校はどのように取り組んでいるのか伺う。
 答各校で指名する情報教育リーダーを対象とした年2回の研修のほか道徳の授業や保護者向けの外部機関の出席講座など、各校の実態に応じた取り組みを工夫している。
 ※他の質問項目 今後の情報モラルの育成 など

障害を理由とする差別の解消の推進

問障害者差別解消支援地域協議会でパンフレット作成など障害者理解を広げるための取り組みを行うのか伺う。



手話通訳での受付

答差別や偏見助長防止の取り組みは重要であり、協議会の意見をいただきパンフレットを作成・配布していく。
 ※他の質問項目 障害者差別解消支援協議会の取り組み など

無所属 (※5)